

2026年5月25日 第555号

憲法共同センターNEWS

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター
〒113-8462 文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX 5842-5620)
<http://www.kyodo-center.jp> mail: move@zenroren.gr.jp

9条署名呼びかけ6団体「憲法審査会現状報告集会」

草の根の運動で高市改憲を止めよう！

憲法共同センターも参加する「9条署名呼びかけ6団体（安法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合、改憲問題対策法律家6団体、9条改憲NO！全国市民アクション、九条の会、憲法9条を壊すな！実行委員会、憲法共同センター）」は5月21日昼、衆議院第二議員会館前で「高市改憲止めよう！憲法審査会の現状」と題して憲法審査会の報告集会を行い、97人が参加しました。

集会では、衆参の憲法審査会に所属する国会議員も駆けつけ、国会で議論されている改憲の動きや、緊急事態条項をめぐる危機的状況について報告がされました。



■イメージ案ではなく実質的な改正案、草の根の運動で阻止を

有田芳生衆議院議員（憲法調査会委員）は、現在の国会状況へ強い危機感を表明しました。「先週、中立的・専門的という名目で法制局などから『イメージ案』が出されたが、その実質的な中身は『改正案』そのものである」と厳しく批判。「国会内だけを見れば改憲勢力が多数を占め大変な状況だが、世論の力で過去にスパイ防止法を廃案に追い込んだ歴史がある。国会内と国会外の力を結集し、全国で草の根の運動を広げて9条改悪を絶対に阻止しよう」と力強く呼びかけました。

■『やった感』を演出する自民党、9条こそが世界の危機を救う

日本共産党の畑野君枝衆議院議員（憲法審査会委員）は、「緊急事態条項のイメージ案」について、改憲推進派の意見を羅列したに過ぎないと指摘しました。「なぜ改憲が必要なのか説明が全くつかな

い。単に『改憲議論が進んでいる』というイメージを国民に植え付け、諦めさせようとする『やった感』の演出だ」と語り、国民との間に大きな矛盾が生じていると非難しました。「日本国憲法9条こそが世界の危機を救う。平和的な外交努力を政府に求め、改憲を許さない世論を広げていこう」と呼びかけました。

■戦前の反省を忘れた人気延長論を批判、参議院の緊急集会で対応可能

立憲民主党の小西洋之参議院議員（党憲法調査会長）は、高市首相が来年春までの改憲発議に意欲を示していることに対し、「とんでもない誤った方針だ」と真っ向から反論しました。現在、衆議院を中心に議論されている「国会議員の任期延長のための改憲」は全く不要であり、権力の乱用に繋がりがねないとし、日本国憲法第54条が定める「参議院の緊急集会」こそが、戦前の悲惨な戦争の反省から生まれた「世界に誇る緊急事態条項」であると訴え、あらゆる手段を講じて改憲の動きを阻止していく決意を語りました。

■法制局を政治利用する自民党、国民主権を奪う任期延長は間違い

「法律家6団体」の大江京子さんは、「緊急事態条項のイメージ案」の作成経過について、「いかにも法制局が客観的にまとめたかのように見せかけているが、その実態は改憲派の要請に応じて作られたものだ。このような政治的影響力を狙って法制局を悪用する自民党のやり方は姑息である」と断じました。

「市民連合」の西山千恵子さんは、自身の選挙区（東京13区）から選出された自民党の土田慎議員が発言した「国民に血を流していただかないといけないこともある」という言葉に対し、強い憤りを表明しました。

「九条の会」の久保木亮介さんは、高市首相の思想背景にある教育勅語への傾倒などに懸念を示した上で、現在の衆議院憲法審査会の運営体制が極めて不公正であると告発しました。

「憲法会議」の高橋信一さんは、傍聴した衆議院憲法審査会の実態を報告し、提出された「イメージ案」の危険性を告発しました。

集会の最後に、主催者を代表して「市民連合」の高田健さんは「決して自民党の思い通りに進んでいるわけではない」とし、「事態は非常に緊迫しているが、私たちが全国で展開している署名やペンライトアクションなどの平和運動をさらに盛り上げれば、改憲を絶対に阻止できる可能性は十分にある。最後まで共に頑張りましょう」と呼びかけ集会を締めくくりました。

◆今後の19日行動◆

6月19日（金）18：30～国会正門前

7月19日（日）15：30～国会正門前

※7月は通常と時間が異なります。

※6月19日は「署名提出」をします。

お手元にある大軍拡反対請願署名を憲法共同センターまでお寄せください。

大軍拡反対請願署名は以下のタイトルです。
『税金はくらしの拡充に 戦争準備の軍拡は中止して、憲法、平和、いのち、くらしを守る政治への転換を求める請願署名（略称：大軍拡反対請願署名）』